

新入社員が多い中で 効果的なレビューを行うための方法 レビューの準備から フィードバックまでの工夫

ワークスアプリケーションズ
風間 裕也

- 会社と自組織の特徴
- レビューの位置づけと特徴
- レビューの改善内容
- フィードバックの具体例
- フィードバック前後の指摘内容数の変化
- レビューイヤーの意識の変化
- 現場の声
- まとめと今後の展望

会社と自組織の特徴

会社紹介

商号	株式会社ワークスアプリケーションズ
設立	1996年7月
事業概要	大手企業向け基幹業務パッケージ「COMPANY」および「HUE」の開発・販売・サポート
従業員数	連結 5,631名 (2016年6月末日時点)

インド工科大学、北京大学をはじめとした
アジアTOP層のIT人材を多数獲得

大手企業向けERPパッケージシェア50%で 6年連続No.1

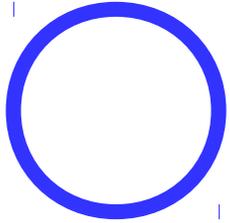
日本の大手企業の約3割、1,300企業グループ超が採用

世界初の人工知能型ビジネスアプリケーション



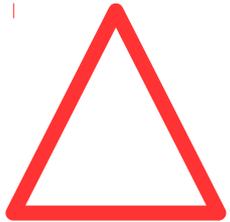
人工知能によるビッグデータ解析・学習

分散処理技術による高速処理



開発とQAの距離が近い

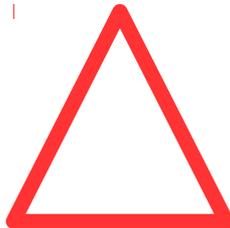
→設計段階で指摘できる



多数の新人が配属された

→基本的な部分から伝える必要あり

→パッケージ製品の設計を教える必要あり



開発チームの人数が多い

→全員に周知徹底させるのが難しい

レビューの位置づけと特徴

■ レビュー形式

設計レビュー

※不具合修正の方針レビューも含む

■ レビュー参加者

開発者、開発リーダー、QA

■ 管理方法

- ・ (公式)開発標準プロセスに含まれる
- ・ チケット/タスクでレビュー実施を管理

2カ月で約100回のレビューに参加した結果、新人には以下の特徴があった。

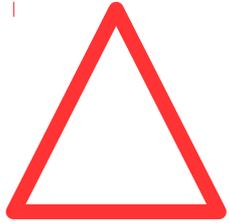
- **必要な情報が資料に載っていない**
→何が必要なのか分かっていない
- **同じような指摘が多い**
→毎回指摘をされていて大変

レビューの改善内容

次回のレビューをより良いものにするために、
新人でも

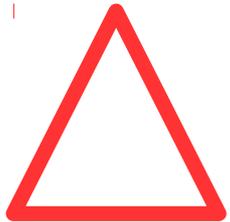
- ・ **レビューに必要な情報を理解できる**
- ・ **最初に学ぶべき箇所を理解できる**

ことを目標に改善を試みました。



ベテランからの口伝

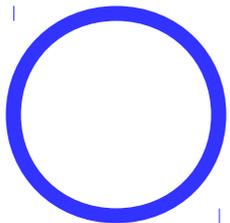
→新人に比べ人数が少ないので伝えきれない



チェックリスト

→意図を理解してもらうことが難しい

→優先度が分かりづらい



フィードバック資料

→意図も含めて理解してもらえる

→まず気にすべきことが分かる

■資料の工夫

- ・ 具体例 **(実例)** を示す

→「分かるけど実践では…」と言わせない

■方法の工夫

- ・ チームMTGを行脚し **直接説明**
- ・ 全員が目を通し、資料を理解
- ・ 質疑応答で細かい所もフォロー

フィードバックの具体例

FB例1 ～影響範囲～

[影響範囲]

<対象機能・対象画面>

△△△△△△ページ。

<対象パス>

src/main/java/jp/co/worksap/foo/bar/○○○.java

<影響範囲詳細>

△△△△△△ページにしか利用していないので影響はありません。

FB例1 ～影響範囲～

[影響範囲]

<対象機能・対象画面>

△△△△△△ページ。

<対象パス>

src/main/java/jp/co/worksap/foo/bar/○○○.java

<影響範囲詳細>

△△△△△△ページにしか利用していないので影響はありません。

【指摘事項】
なぜ「影響なし」
と言えるのか
その判断の根拠が
書かれていない。

FB例1 ～影響範囲～

[影響範囲]

<対象機能・対象画面>

△△△△△△ページ。

<対象パス>

src/main/java/jp/co/worksap/foo/bar/□□□.java

<調査>

方法(方法、Grep対象の文字列や拡張子など)

- ・呼び出し階層で検索
- ・修正するメソッド名“getFooBarId”でGrep

<影響範囲詳細>

- ・呼び出し階層で検索した結果、今回の用途以外で呼ばれている部分は存在せず。
- ・Grepした結果、“src/main/java/jp/co/worksap/foo/bar/□□□.java”が出てきたが、ファイル内のprivate関数であるgetFooBarId()を呼び出しているため関係無し。

【記載例】
文字列検索(Grep)
などを用いて、
影響が無いと
判断した理由を
記載する。

[影響範囲]

<対象機能・対象画面>

△△△△△△ページ。

<対象パス>

○○.js

<影響範囲詳細>

□□□□□□より、今回のページ以外に影響はありません。

FB例2 ～ファイルパス～

[影響範囲]

<対象機能・対象画面>

△△△△△△ページ。

<対象パス>

○○.js

<影響範囲詳細>

□□□□□□より、今回のページ以外に影響はありません。

【指摘事項】
違うパスに
同じファイル名が
存在している
可能性がある

① デバイスの違い（PCとスマートフォン）

src/main/java/jp/co/worksap/pc/ 以下を調査していたが
src/main/java/jp/co/worksap/smp/ 以下でも
同様の修正が必要だった。

デバイスの想定漏れに気付いた

② 似たような画面

ユーザー情報登録画面の修正をしていたが、
ユーザー情報編集画面も同様の修正が必要だった。

類似画面の想定漏れに気付いた

FB例3 ～新規と既存～

<修正内容>

既存テーブルに新規カラムを追加

[影響範囲]

<対象機能・対象画面>

△△△△△△ページという

新規ページを作成

<影響範囲詳細>

前回の出荷時点に新たにカラムを加えたただけなので影響なし。

また、新規ページを作成したただけなので、既存部分には影響なし。

FB例3 ～新規と既存～

<修正内容>

既存テーブルに新規カラム

[影響範囲]

<対象機能・対象画面>

△△△△△△ページという
新規ページを作成

<影響範囲詳細>

前回の出荷時点に新たにカラムを加えただけなので影響なし。
また、新規ページを作成しただけなので、既存部分には影響なし。

【指摘事項1】

insert into ○○ VALUES
(foo, bar, baz);
というカラム指定なしの
insert文のSQLがあった場合、
不具合になる可能性がある
→テーブル名でGrep

FB例3 ～新規と既存～

<修正内容>

既存テーブルに新規カラムを追加

[影響範囲]

<対象機能・対象画面>

△△△△△△ページという

新規ページを作成

<影響範囲詳細>

前回の出荷時点に新たにカラムを加えたただけなので影響なし。

また、**新規ページを作成しただけ**なので、既存部分には影響なし。

【指摘事項2】

作成した新規ページ上で
入力したデータを

DBにinsertする場合、
そのデータを取り出す

画面も対象になる。

→テーブル名でGrep

FB例4 ～初期設定～

【概要】

結果一覧画面において、表示順序を変更できる機能を追加。
元々は名前順になっていたが、
更新日付が最新から順になる方が分かりやすいので、
初期表示は更新日付の降順にする。

FB例4 ～初期設定～

【指摘事項】

既存ユーザを考え、
初期設定は
以前と同じ＝名前順にすべき

【概要】

結果一覧画面において、表示順を変更できる機能を追加。
元々は名前順になっていたが、更新日付が最新から順になる方が分かりやすいので、
初期表示は更新日付の降順にする。

※ パッケージ製品においては、
既存動作保証が重要

【概要】

〇〇に関するCSV取り込みができるようにします。
その中で「自動実行フラグ」の項目に関しては、
0か1の値が入ります。
0が自動実行OFF、1が自動実行ONになります。

それ以外の値が入った場合、
「入力値が誤っています。」
というエラーメッセージを表示します。

FB例5 ～表示文言～

【概要】

〇〇に関するCSV取り込みができるようにします。
その中で「自動実行フラグ」の項目に関しては、
0か1の値が入ります。
0が自動実行OFF、1が自動

それ以外の値が入った場合、
「入力値が誤っています。」
というエラーメッセージを表示し

【指摘事項1】
「フラグ」は
システム用語なので
表示項目に
使うべきではない。

【概要】

〇〇に関するCSV取
その中で「自動実行」
0か1の値が入ります。
0が自動実行OFF、1が自動

【指摘事項2】
メッセージを見たお客様が
次のアクションをどのように
行えば良いか分からない。

それ以外の値が入った場合、
「入力値が誤っています。」
というエラーメッセージを表示します。

FB例5 ～表示文言～

【記載例】
一般用語を用いる。

【概要】

〇〇に関するCSV取り込みができるよう
その中で「実行方法」の項目に関しては
0か1の値が入ります。
0が手動実行、1が自動実行になります

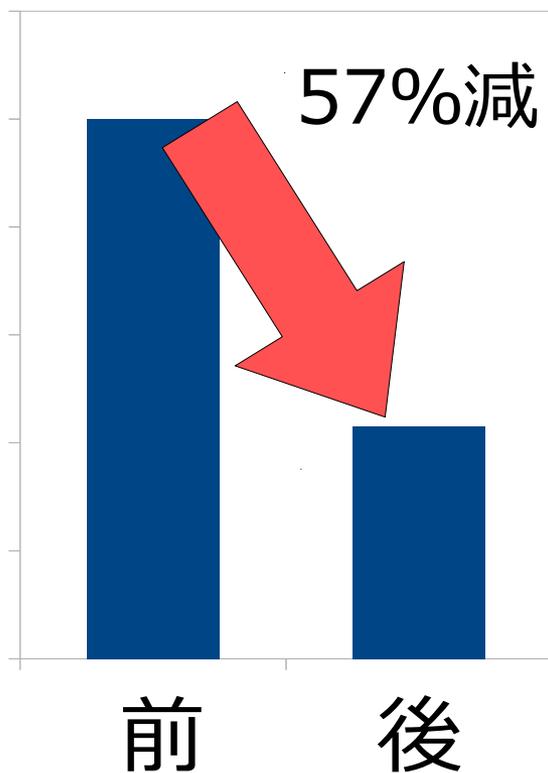
それ以外の値が入った場合、
「入力値が誤っています。手動実行の場合”0”、
自動実行の場合”1”を入力してください。」
というエラーメッセージを表示します。

【記載例】
お客様がどのように
直せば良いか分かる
文言になっている。

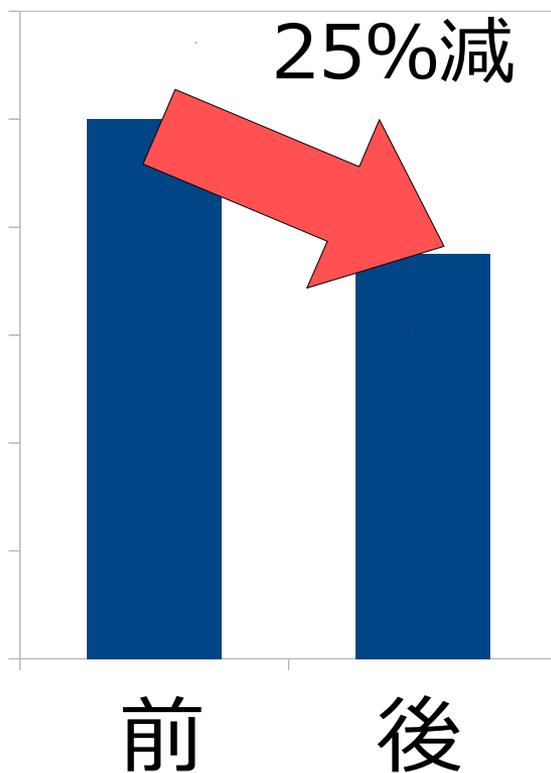
フィードバック前後の 指摘内容数の変化

FB前後の指摘内容数の変化

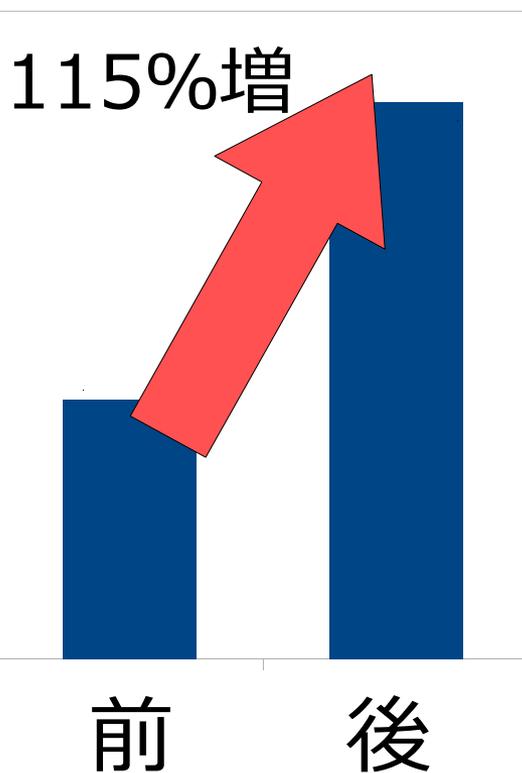
既存動作保証



影響範囲

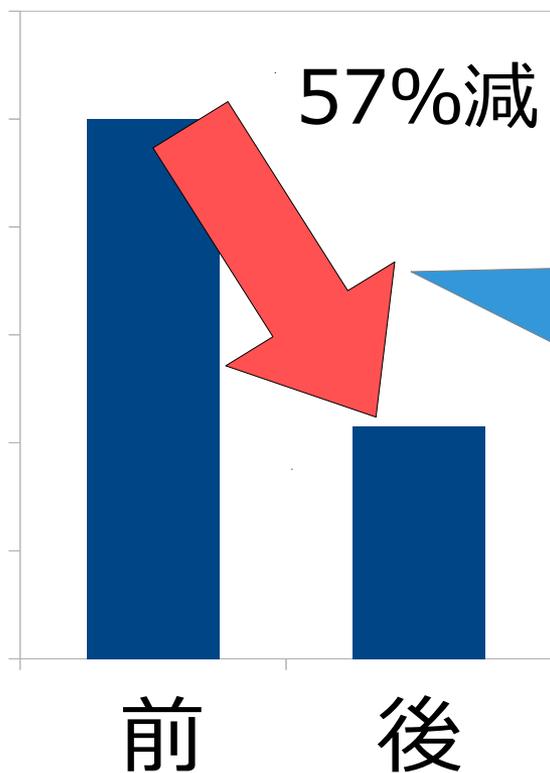


テスト設計



FB前後の指摘内容数の変化

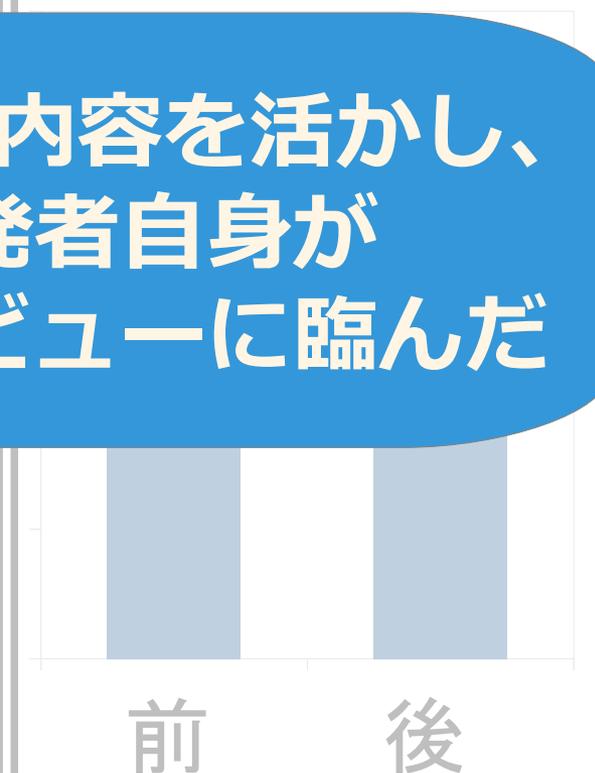
既存動作保証



影響範囲



テスト設計



フィードバック内容を活かし、
事前に開発者自身が
気を付けてレビューに臨んだ

FB前後の指摘内容数の変化

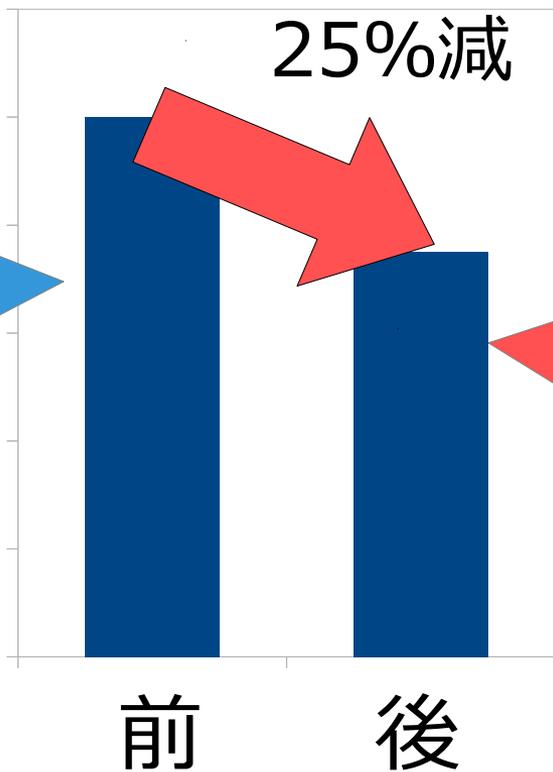
既存動作保証

フィードバック
内容を活かした



影響範囲

25%減



テスト設計

新人の
調査方法では
不十分な
ケースが
あった

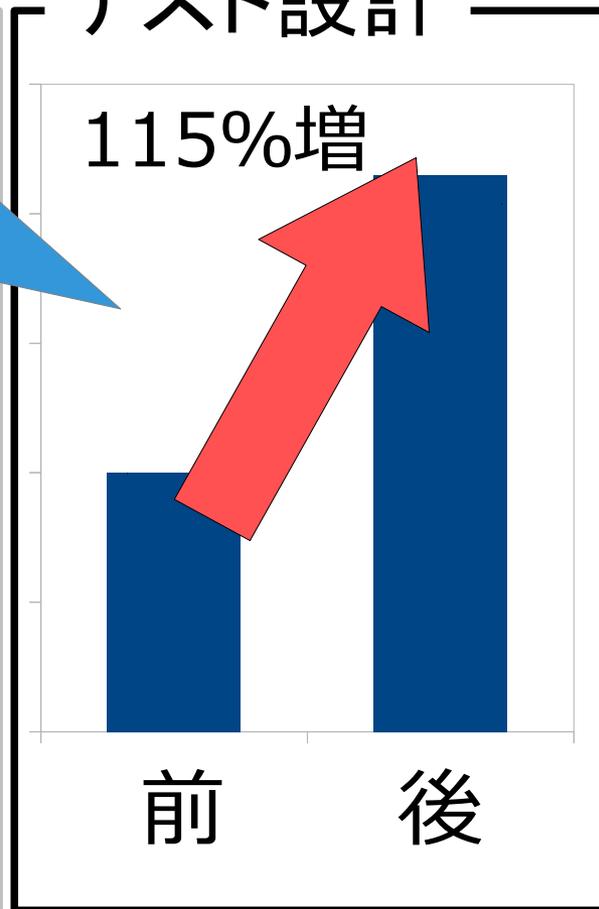


FB前後の指摘内容数の変化

既存動作保証 影響範囲

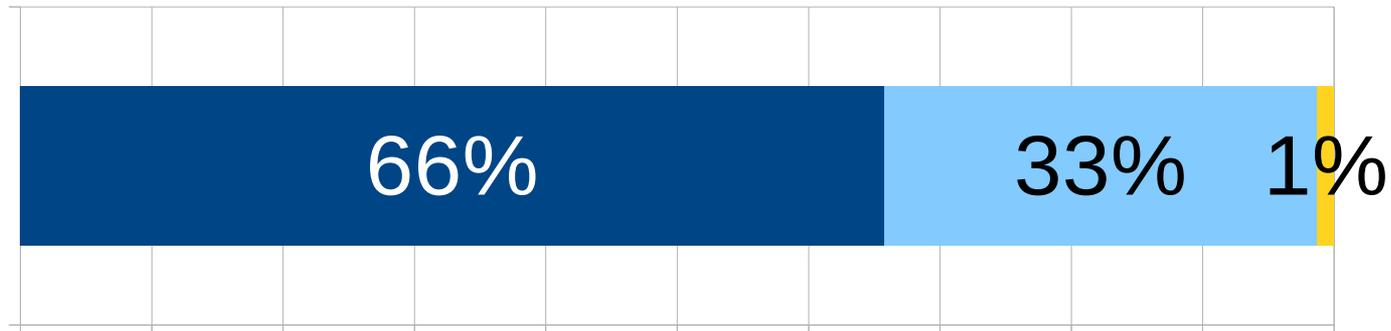
テスト設計

事前にきちんと調査し、
論理的に示しているため、
実装前にもかかわらず、
テストに関する話まで
伝えることができた



レビュイヤーの意識の変化

Q1. レビューで製品の品質は良くなったと思いますか？



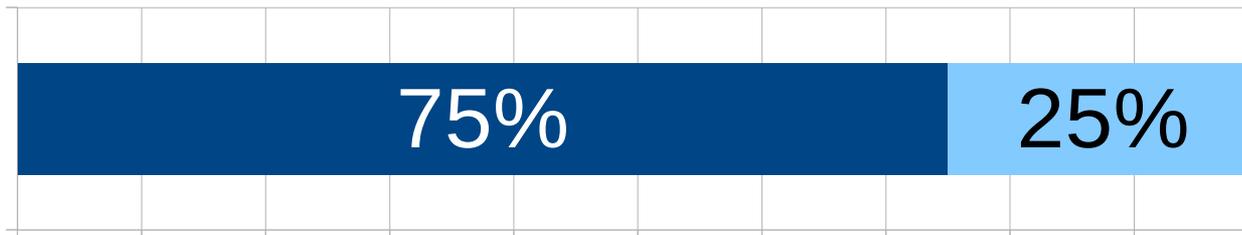
- 1. 良くなったと思う
- 2. 少し良くなったと思う
- 3. あまり良くならなかつたと思う
- 4. 良くならなかつたと思う

Q2. 今回のレビューは上辺だけの実施でなく、実質的な価値があったと思いますか？



- 1. 価値があった
- 2. 少し価値があった
- 3. あまり価値が無かった
- 4. 価値が無かった

Q3. レビューのフィードバックとして、
具体例を用いた指摘事項を紹介しました。
これは、自分自身でのレビュー前確認で
役立ちそうですか？



- 1. 役立つと思う
- 2. 少しは役立つと思う
- 3. あまり役立たないと思う
- 4. 役立たないと思う

現場の声

影響範囲調査もレビュー時の指摘や
フィードバック資料によって、
自分で考慮漏れに気付くことができました。

当時は配属数か月で右も左もわからないという状況の中、
レビューという場で**不足している観点を
おぎなってくれた**ことは非常にありがたかったです。

修正方法たくさんある中、一番**パッケージとして
いい方針を指摘いただいたので、良かった**です。

大きかったと感じるのは、新人の
「あまり深く考えずに何となく直してました」
という姿勢が、**改善されたことだ**と思います。

チーム、組織にとらわれず **「皆で良い製品にしていこう」**
というマインドが徐々に根付きつつあると思っています。

レビューを徹底することで、
メンバーの調査や修正による影響の考慮など、
マインド的な面への影響はまちがいなくあると思う。

今のフローだと、**工数を無駄にしない点からは、まだ改善の余地がある**ように感じています。

レビューの工数を減らす仕組みが必要だと思う。資料作成や差戻しで時間がかかっていると思うので、**テンプレートを増やす**などの工夫が必要。

まとめと今後の展望

- 新入社員が多い中でレビューを効率よく行うための方法として**実例入りのフィードバック資料**を作成した。
- フィードバックは**直接説明すること**で、全員に理解してもらえた。
- 結果として、より**本質的な指摘ができる**ようになり、レビュイーからも**良い反応を貰うことができた**。

- フィードバック資料の第2弾以降を作成する。
資料は**段階的にやるべきことを示す**ようにする。
- フィードバック資料に加え、**理解度の確認**ができる形にする。
- 今回の施策がどのように品質向上に寄与したのか
出荷後の不具合を計測し、定量的に示す。

ご清聴ありがとうございました。